

# 順調だったアメリカ経済

1918年



① T型フォードの自家用車にてピクニックを楽しむ家族(アメリカ)

第一次世界大戦中に戦場にならず、大量生産した製品を輸出して利益を得たアメリカは戦後もこれまでにないほどの好景気が続き、世界経済の中心になっていた

1928年

② アメリカの大統領などの話

- ・ひんこん 貧困に対する最終的勝利に近づきつつある。
- ・現在ほど楽観的な見通しをもてる時期は、これまでなかった。



# 世界恐慌（せかいきょうこう）

そんな好景気の終わりは突然やってきた



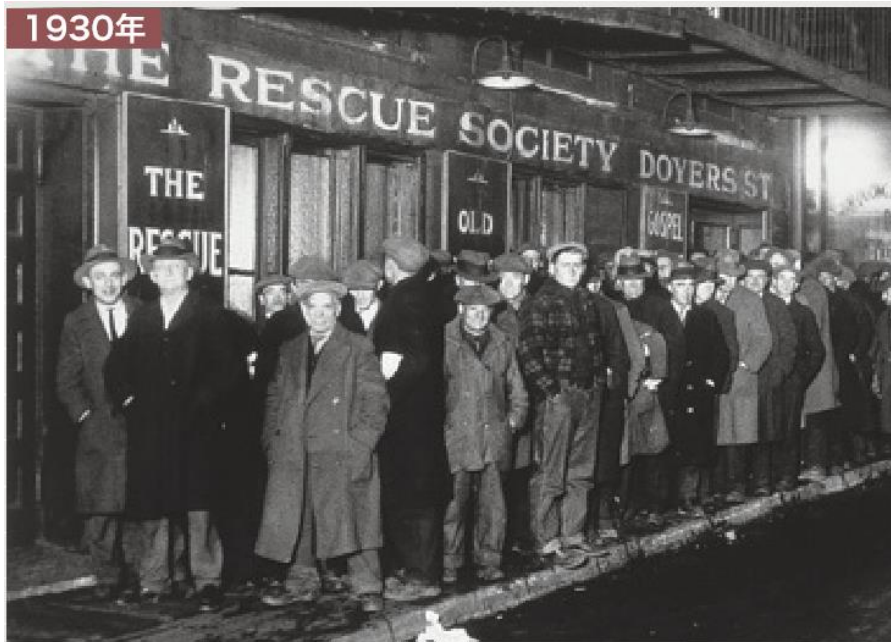
1929年、急速な不景気により商品が売れなくなり利益を得られなくなった会社の株価（値打ち）がさがり、アメリカの  
**ニューヨーク**で株価が大暴落。多くの会社が倒産し、町には失業者があふれた。



このようなアメリカの急速な不景気はアメリカと貿易をおこなっていた他の国々にも影響をおよぼした。

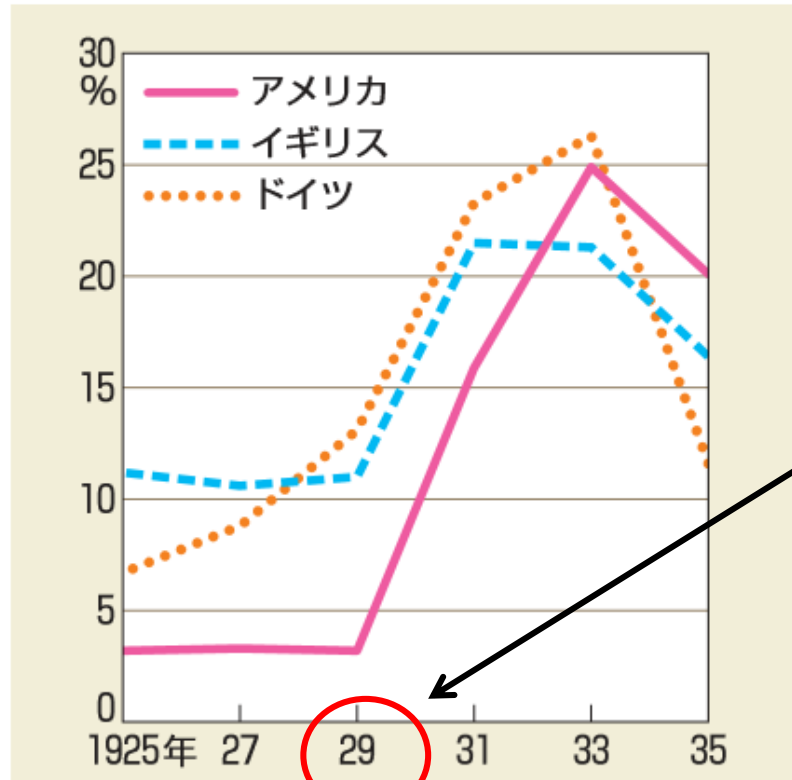
このように世界中が急速に不景気になることを**世界恐慌**という

1930年



③ パンの配給を待つ失業者の行列（アメリカ）

# 世界恐慌の影響



1929年の世界恐慌をきっかけに各国で失業者が増大していることがわかる

④ 各国の失業率の移り変わり  
(『マクミラン世界歴史統計』)

# ニューディール政策



⑨ ニューディール政策で建設されるダム  
(1935年 アメリカ)

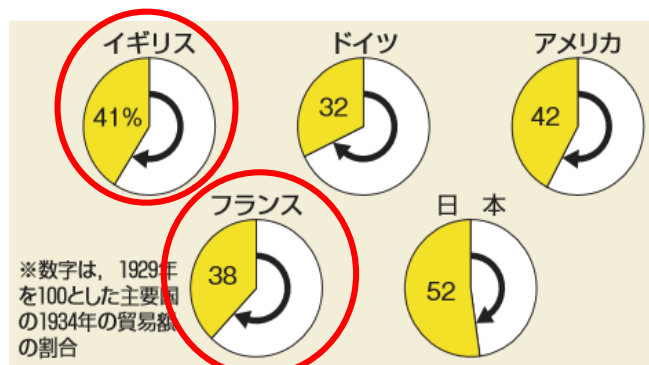
アメリカのルーズベルト大統領は  
ニューディール政策を実施した。政府が  
給料を出して公共事業を行い、失業者に仕  
事をあたえ、景気の回復をめざした

テネシー川にダムを作って総合開発するTVA有名

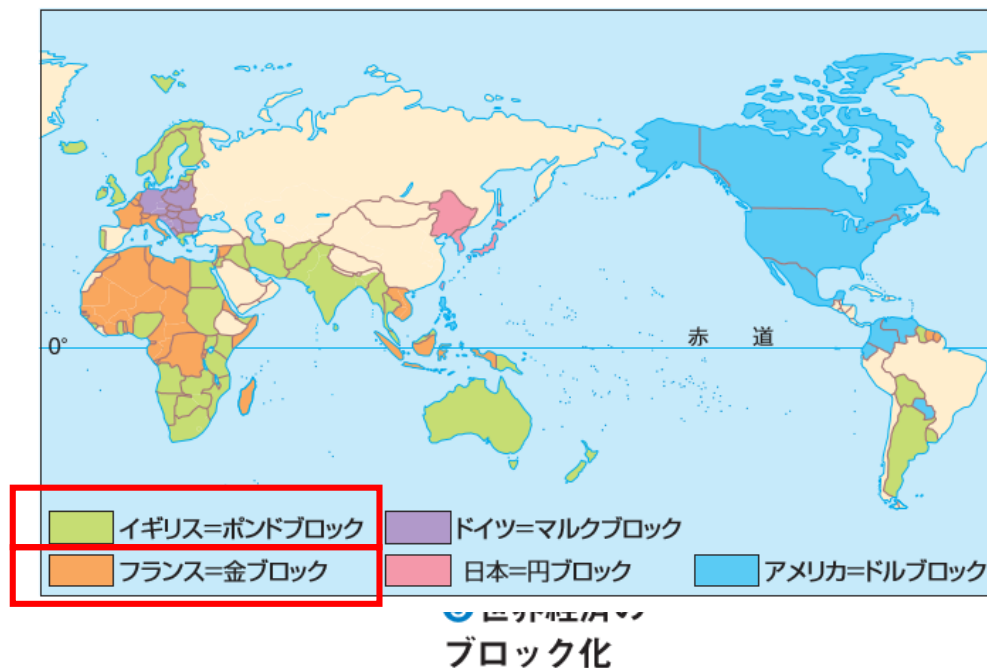
急速に不景気になったとはいえ、他国に比べれば  
お金があったアメリカは政府が失業者のために仕  
事をつくって給料をあたえ、世界恐慌から脱出し  
ようとした。ダムづくりのように政府がお金を出  
しておこなう事業を公共事業というよ。

# ブロック経済政策

イギリスやフランスは高い関税をかけて他国との貿易を減らし、自分の思い通りに商品が売れる植民地とだけ貿易をして世界恐慌からの脱出を目指した。イギリスやフランスはたくさんの植民地を持っていたことがわかる。



⑥ 縮小する主要国の貿易 (1981年版『通商白書』)



**イギリス**や**フランス**は**ブロック経済政策**を実施した。広大な**植民地**を利用して貿易で利益を手に入れた。他国の商品には高い関税をかけて売れないようにブロックし、自国の商品だけが売れるようにして経済の回復をめざした。

# 世界恐慌の影響を受けなかったソ連

**社会主義国**だったソ連は、**スターリン**がリーダーとなって**計画経済**を実施。

計画経済とは**5年かけて国がたてた計画をもとに**すべての産業で生産量、販売量、価格などを決めたしくみのことで、計画的に取り組んでいるので利益を得たい会社が商品を生産しすぎて売れ残ることがなく、世界恐慌のような急速な不景気によらなかった。

# ファシズム政策



⑧ ムッソリーニ(左)とヒトラー

アメリカのようにお金がなく、イギリスやフランスのように広大な植民地もないドイツやイタリアや日本は**ファシズム政策**を実施した。

ドイツでは**ナチ党**の**ヒトラー**がリーダーとなり、**再軍備を進めて、他国を侵略して植民地を手に入れた。**

イタリアでは**ファシスト党**の**ムッソリーニ**が独裁政治をおこない、**再軍備を進めて、他国を侵略して植民地を手に入れた。**

ヒトラーやムッソリーニがおこなった独裁政治をファシズム政策という。ドイツやイタリアと同じように植民地が少ない日本でもファシズム政策で世界恐慌を脱出する動きが起こった。